令和7年度第2回千代田区文化芸術プラン推進委員会 議事録

■日 時:令和7年7月31日(木)14時00分~15時30分

■会 場:千代田区役所4階 会議室A

■委 員:星野委員長 星野 泉

委 員 山﨑 鯛介/田中 晴子/新井 巖 阿部 俊裕/マライ メントライン 中田 治子(地域振興部文化スポーツ担当部長)

■オブザーバー:九段生涯学習館指定管理者 ㈱小学館集英社プロダクション 2名 ちよだアートスクエア次期運営事業者

㈱JTB コミュニケーションデザイン(JCD) 1 名

■事務局:地域振興部文化振興課長 武笠 真由美 地域振興部文化振興課文化振興係職員 1名

議事次第

- 1 開会挨拶
- 2 議題
 - (1) 千代田区文化芸術プラン(第5次)の策定について
 - (2) 今後のスケジュールについて
- 3 その他

【配付資料】

資料 1 千代田区文化芸術プラン推進委員会委員名簿

資料 2-1 フォーム比較

資料2-2 千代田区文化芸術プラン(第5次)たたき案

資料2-3 施策体系の変更案について

資料3 千代田区文化芸術プラン(第5次)策定スケジュール

資料4 (参考) 千代田区文化芸術プラン (第四次)

資料 5 (参考) 令和 6 年度第 2 回推進委員会議事録

資料6 (参考) 令和7年度第1回推進委員会議事録

令和7年度第2回千代田区文化芸術プラン推進委員会を 開会いたします。

お暑い中ご出席ありがとうございます。15時半までということでございますのでご協力のほど宜しくお願いします。

配布資料確認を宜しくお願いいたします。

文化振興課長

配布資料を確認させていただきます。

まず本日の次第、それから資料1が委員の名簿、資料2 -1がフォームの案、資料2-2が第5次プランのたた き台、2-3が施策体系の変更案について、資料3がス ケジュール案、資料4が文化芸術プラン第四次の冊子、 資料5、6が前回、前々回の議事録でございます。

不足のものなどございませんでしょうか。

それでは星野委員長に議事の進行をお願いいたします。

星野委員長

では千代田区文化芸術プラン第5次の策定についてということで、事務局からのご説明を宜しくお願いします。

文化振興課長

資料2-1をご覧ください。こちらが文芸プランの冊子のデザイン案の比較となっています。A 案として桜を基調とした案、B 案として江戸紫を基調とした案、をお示ししております。

文芸プランの表紙としてどちらがより良いというご意見 がございましたら、ご意見を承れればと思います。

メントライン委員

どちらも素敵だなと思います。あえて選ぶなら、ハッピーな雰囲気で、そして桜の名所である千代田区の A 案が良いのではないかと思いました。

フォントについては、「ご提示案」とされている BIZ UD ゴシックは、日本語はすごく読みやすいですが、アルファベットとしてはそんなに読みやすくないので、HG ゴシック M のほうがより見やすいです。

星野委員長

デザインとフォントを組み合わせることはできるのでしょうか。

文化振興課長

字体の変更は可能です。

星野委員長

ではアルファベットのほうは今メントライン委員がおっ

しゃったフォントにしてはいかがでしょうか。

メントライン委員 ちなみに UD デジタル教科書体 NP-R であれば、アルファ

ベットも OK です。

田中委員 じゃあ日本語もアルファベットも UD デジタル教科書体

NP-R でよいのでは。UD と入っているのはユニバーサル

デザインの略なので、読みやすさの面でも。

星野委員長 UD デジタル教科書体 NP-R で日本語も特に問題ないと思

いますね。「第四次プラン使用」と書いてある。

文化振興課長第四次プランではそちらを使用しておりました。

星野委員長 これ確かに読みやすいような気もするし日本語も普通な

感じがしますよね。

では第四次プランでも使用の UD デジタル教科書体 NP-R で日本語でもアルファベットでも使用ということでいか

がでしょうか。

特になければそのようにさせていただきたいと思いま

す。

文化振興課長 桜のほうが良いというご要望をいただきましたけれど

も、他の委員の方々もよろしいでしょうか。

山崎委員 私はどちらかというと B 案のほうが良いなと思いまし

た。

新井委員 桜はメントライン委員がおっしゃったように非常にシン

ボリックなものではありますが、逆に使いすぎている感じもするので、かえってありきたりな感じもしてしまう

かもしれません。

もし文化伝統をクローズアップするのであれば、B 案の

ほうが良いような気もしますが、そんなにこだわりませ

 λ_{\circ}

文化振興課長ありがとうございます。フォームの比較についてはいろ

いろご意見があると思いますが、ご意見を踏まえて事務

局に一任いただくかたちでよろしいでしょうか。

私は特に意見はなく桜も良いと思うのですが、この A 案 は前のプランと似ていて、よく文字を見ないと 4 次か 5 次かわからなくなるなと思っていました。

新井委員

私も A 案はカラフルで、柔らかい感じがするのでいいかなと思いました。

星野委員長

では事務局に一任するというかたちで。 表紙のタイトルは今話した字体とは関係ないでしょう か?

文化振興課長

表紙の字体はまた別になります。デザイン的に合うもの で次回お示しさせていただきます。

星野委員長

それから資料2-2になりますか。

文化振興課長

資料2-2は文化芸術プラン第5次プランのたたき台で ございます。この会議の前にお送りしたものと同じもの です。本日はこのたたき台の全体の構成や体系図につい て確認していただければと思っております。

2-2を捲っていただきますと、開いたところ右側に目次がございます。目次のうち、本日ご確認いただきたいのは、第4章の冒頭までとなります。ただ、全体の構成としては、資料編まで含めてこのような構成を考えているということをご覧いただければと思います。

では、第四次からの主な変更点についてご説明させていただきます。

さらに 1 枚お捲りいただきまして、1 ページ目になります。第 1 章は第四次では「計画策定の目的」としまして、1 は「千代田区における文化芸術振興について」となっておりました。

それを今回は「計画策定にあたって」という章のタイトルにいたしまして、1 番目のところで「計画策定の背景と目的」というタイトルに変更しております。

はじめに計画策定の背景と目的を表現したほうが良いのではないかという考えからの変更でございます。ここの部分で、文化芸術振興に取り組む意義や目的、文化芸術にどのような価値があると考えているのかを記載しています。

1章の4として「計画における区の文化資源」がござい

ます。第四次にはなかった部分ですけれども、今回追加 しました。1の「計画策定の背景と目的」で、文化芸術 振興に取り組む意義を記載したことを受けまして、区の 文化芸術資源について触れる記載をここに入れておりま す。

もう 1 枚お捲りいただきまして、第 2 章は、第四次では 計画の背景となっておりましたが、今回は「区を取り巻 く現状と課題」というタイトルに変更させていただいて おります。

第四次では、国や都における文化政策動向が先に記述されていたところですけれども、本プランは区のプランのため、区の第四次までの取り組みとその評価、今後の課題を先に記しております。

そして今後の課題は、第5次で解決すべき課題、という かたちで記載しております。

少し飛びまして、第3章 14 ページ目になります。第3章は目次の項目の変更はありません。第3章での施策体系については、見た目が変更しているところではあるのですけれども、条例に基づいてやっていくというところは変わっておりませんので、条例に基づく記載になっているところは変更ございません。第四次では条例の条文を意訳した記載になっていた部分がありますが、それを条例の文章と同じに改めて、より条例に基づくプランであるということを示しております。

またこの体系のつくりも第四次から若干変わっているのですけれども、第四次までは「基本目標」「重点目標」「施策」そのあとに「プロジェクト」というかたちになっていたのですが、「施策」と「プロジェクト」が同じ意味合いのために、施策の後ろに主な事業をぶら下げる形を考えております。

第四次からの変更点と変更のポイントについては、資料 2-3をご覧いただければと思います。

先ほども申し上げましたけれども、第5次の体系は、文 化芸術基本条例第7条に掲げる重点目標の達成のための 施策を示すものとして見直しをしております。

第7条に掲げる重点目標というのが、この体系にある重点目標の通り、1「保存し伝える」、2「創る」、3 「育てる」でございます。

本プランは条例の第6条に基づき策定する計画のため、 基本目標は意訳ではなく、条例第1条の「目的」を記載 いたしました。「重点目標」は第7条の重点目標の通り 記載しています。

基本目標と重点目標については、条文の意訳や、条文を もとに新たな柱を立てるということはせず、シンプルな 記載としています。

ただ、第四次の基本目標だった、「心豊かな日常生活が 送れる美しいまちの実現」「文化芸術のエネルギーがあ ふれるまちの実現」というタイトルについては「目指す べき姿」という形でたたき台の 14 ページに記載を残し ています。

資料2-3にお戻りいただいて、下部、第四次プランからの変更ポイントをご覧ください。

第四次の施策ではまずはじめにカテゴリやテーマがありまして、施策の説明をする、という枠組みでございました。

今回の第5次プランにつきましては、より訴求力のある 形にブラッシュアップするということで、まず最初にス ローガンとして、施すべき施策を具体的かつ端的に記述 することにいたしました。その下にタグとしまして、取 り組む項目と視点、それからステイトメントとして、詳 細な説明を加える、という構成にしたいと考えておりま す。

プラン案の中の体系図では、スローガンのみのシンプルな形でございますけれども、第4章でそれぞれスローガン、タグ、ステイトメントを記載し、具体的な事業を記述していくという構成を考えております。

第四次では施策の下にプロジェクトがぶら下がっていましたが、「施策」と「プロジェクト」が同じ意味のため、重複や不整合等が一部見られました。

そこで、施策や事業の複層的な価値が反映しにくい面があったという課題から、第5次では施策の下の主な事業をぶら下げることによって、施策からのつながりをわかりやすく示すとともに、拠点施設とのつながりもわかりやすく示したいと考えているところです。

施策体系は今後の計画策定作業の要となる部分ですので、本日はこの体系、基本目標、重点目標、施策の内容についてご確認いただき、ご意見をいただきたいと思っております。

続いて、プランのたたき台の 17 ページ (第4章) になりますけれども、目次の項目は第四次と同じですが、記

載は先ほど申し上げた通り変更しております。

事業については8月に事業調査を行っていく予定のため、本日は構成のみご確認いただき、具体的な事業を記載したものについては、次回の策定委員会で改めてご確認いただければと思っております。

資料2-2、2-3についてはご説明は以上になります。 星野委員長よろしくお願いいたします。

星野委員長

ありがとうございます。

第4章の冒頭までを見ていきましょう、というところで すね。

第四次との変更点としては、オリンピック等への対応で書いた部分が減ったりしているのと、写真はこれから差し替えなどされるんですよね。あと休館のところがあるので、その説明が追加されるということで。

それから区民の意見のところは新しく入ったということ ですね。

文化振興課長

はい、区民世論調査の結果を入れております。

星野委員長

どういうイベントに関心があるかという情報が入っていますね。あとは見せ方の問題で入れ替えたりしているということかと思います。

全体的に内容は踏襲しているという感じかと。 何かご意見ございますでしょうか。

新井委員

今星野委員長がおっしゃったようなことで、前回のもの を踏襲しているという感じが色濃く出すぎている気がし ます。

基本的なプランは踏襲するにしても、なるべく具体策が あったほうがいいのではないかというのが全体的な印象 です。

特に今回、区の施設ごとの評価と課題というふうになっていて、これはご承知の通り4つあるうちの半分ないしは4分の3が休館となることで、それについて代替の概要も含めて入れたほうがいいのではないか、あるいは計画期間の5年の間にはちゃんと完成するということで納めてしまってよいのか、というのは私としては引っかかるところでありました。

代替の施設をイメージしないと絵に描いた餅になってし

まうような気がしますので、そこら辺をどういった風に この中に位置付けていただけるのかというのが疑問でご ざいました。

星野委員長

ありがとうございます。

とくにここが一番気になる、というところがもしあったら。

例えば今までの何次かの間では、項目の記載位置を前後 させたり、施策体系の表現を「保存」だとか「育てる」 だとか表現を検討したりしたんですが、あまりよくなっ たのか悪くなったのかわからないけれども。どちらでも そう問題ないだろうという感じではあったのですが。 休館している部分は代替えっていうのかな。

新井委員

代替えを示して、そこはその間どういう活動ができるか どうか、ということですよね。

あとは第3章の基本的方向性のなかでは、一番心配なのは、もうちょっと千代田区の文化芸術を「発信する」という意識がなんとなく全体を読んだ感じでも乏しいような気がします。その点については、発信する以上は発信する場が必要であるにも関わらず、場としての4つの施設が減ってしまっているのが現実ですね。そういう面では代わりにどういう発信をどういう場でしたらいいのか、物理的な場だけでなくても、むしろ何らかの情報伝達、何らかのメディアを使っての、そういった情報の発信というのが必要なんじゃないかな、というのが個人的な感想です。

星野委員長

9ページの「②今後に向けた課題」のところにも、「休館期間中でも文化芸術を推進できるような事業が求められます」とありますが、何か追加で書けますでしょうか。

文化振興課長

ここは「今後の課題」としている部分ですので、具体策は第4章の方で新規拡充する事業も含めて、新しく行うもの、施設改修中といえども、文化芸術振興のためにやっていく施策というのを、入れていく予定です。事業調査のあと、各事業の記載が入ってくると見え方も違うかな、と思っております。

では新井委員の意見は4章を見せていただいてから。

「求められます」というと他人事みたいなので、それが 少し具体的になったら、「進行中です」とか「目指して います」とかの表現が良いのでは。「今後に向けた課 題」は再検討したいと思います。

あとこの新しい部分は、DX の例が出ていたり、13 ページの「他自治体の DX 活用事例」とありますが、千代田区の部分で何か書いてあるのでしょうか?

文化振興課長

事例としては他の自治体のものを載せているところですけれども、千代田区でも文化財の収蔵品の一部はデジタル化を進めて公表している状況がございます。ただ、現状では限られた範囲でしかないので、先行自治体のデジタルミュージアムのような、より広く収蔵品について親しんでいただけるようなデジタルアーカイブを作ることを検討中でございます。

星野委員長

他いかがでしょうか。

メントライン委員

確かに今言われたように、情報を「発信する」という ワードが多いですね。

それはすごく大事でやるべきことですが、「交流」を大事にすることも大事だと思います。「発信」は一方的ですが、「交流」を大事にする、開かれた芸術シーンを目指す、というようなメッセージがどこかに入っているといいなと思いました。

社会情勢を見ていてもちょっと排他的な方向に向かっているので、外の人との交流、どこの人でもいいのですが、交流を大事にするような千代田区だったらいいのになと思いました。

星野委員長

このなかで「交流」はどのあたりにあったでしょうか。 大使館が云々、というところがどこかにありましたね。 具体例なのか、あるいは今おっしゃったような、情報が 一方的ではなく、交流を大事にするという考え方を、 「はじめに」や前の方のどこかに入れ込むか、ですよ ね。

1ページの下の方には、対象が「働く人、学ぶ人、買い物や観光などでまちを訪れるすべての人々」「近年では外国人居住者も増加」と書いているので、ここをもう少

し膨らませてもいいかもしれないですね。参加交流について。

文化振興課長

1 ページ目を膨らませるのと、あとは3ページにも大使 館等の話を書いた部分がございますので、区の文化資源 の方でも何か書き足せるのか、検討させていただきま す。

星野委員長

「交流」は外国からの人だけでなく、年寄りと若者とか 男女とか、属性が異なる者同士が交流する場面がますま す減ってきて、「友達はネットの中」という状況が続く のはやはりよくないので、リアルな人間の関係性みたい な、それが言ってみれば文化であり、芸術である、とい うことだと思いますので。

大きな話で前にどんと持ってくるのであれば、私も文を 考えますが。

具体例よりは前の方に書くのが良いでしょうか。 具体例とはいっても、「こういう政策をやってくれ」と いっても実現が難しいこともありますよね。

メントライン委員

私も大使館等の外交機関との交流というより、今星野委 員長がおっしゃったような、世代間や若者だったり、内 と外、障がいのある方等、全体を想定しています。多様 な価値観を知るうえで、そもそも発信しないと伝わらな いので、交流もやはり基本だと思うんですよね。

星野委員長

いいですね、「多様な価値観」入れましょう。それは今 まで表現の仕方として入っていなかったと思います。

文化振興課長

1ページ目の冒頭で「時代や国境を越えた共感を呼び起こすことによって、人と人を結び付け」と書かせていただいているので、最初の「計画策定の背景と目的」で交流ですとか多様な価値観というところを、書き足すような形で検討させていただきます。

委員の皆様も、「こういう風に入れたら良いのではないか」というご意見が他にもありましたら、この後メールでも結構ですので、お寄せいただければと思います。

星野委員長

「多様な価値観」は良いような気がします。「認め合う」とか。「多様性」はどこかにありましたか、ダイ

バーシティで全部含まれるのでしょうか。

文化振興課長 1ページの真ん中から少し下あたりの、オリンピック・

パラリンピック競技大会の下あたりに「人々の多様性」というのも文言としては入っているのですけれども。

新井委員 この段階ではもうオリンピック・パラリンピックは必要

ないんじゃないでしょうか。

星野委員長 そう思います。今からどうかというと、特筆すべきこと

もないので。

文化振興課長その前の部分にコロナウイルスのことも書いているので

すけれども、こちらはどうでしょうか。

新井委員 これももう無くしてよいのではないでしょうか。

星野委員長 コロナウイルスと芸術が直接関係あるわけではないの

で。これは抜いてしまったほうが良いかもしれません。 あと何かご意見ございますでしょうか。阿部委員も何か

ありましたら。

阿部委員 仰ったように、交流とか世代間のこととか、良いと思い

ます。

星野委員長 他どうでしょうか。

新井委員 先ほど世代間の交流というお話がありましたけれども、

今までのプランですと、その部分があまり語られていな くて、潜在的というか包括的には語られているのでしょ

うけれども、やはりもう少し具体的に。

施設に関して言うと、印象としては、どうしても若者が

参加しないような施設が多いんですね。

例えば音楽でいうと、どうしてもクラシックが中心に なったりして、若者の広い意味でのポップスなどの場を 生涯学習館に取り込めるかというと、なかなか難しい感

じがします。

若い人も含めて場を提供する、というのがやはり必要か と。そうしないとどんどん世代が上のほうばかりになっ てしまって、下のほうが付いていかないということにな るので。

若い世代を文芸プランの中に取り込む意味でも、若者が 集える場というかメディアを作るという意識もこの中に 含めていただけると有難いかなという気がします。

「高齢者向きの施設・プラン」というとられ方をしてしまうことを危惧しておりますので、そこを意識して入れ込んでいただけると有難いと思います。

文化振興課長

ありがとうございます。アートスクエアも内幸町ホールも、これから改修工事が始まるのですけれども、やはり若い方にも使っていただけるように、内幸町ホールには動画配信ができるようなスペースを設ける予定ですし、アートスクエアについても、これまで展示がメインでしたけれども、音楽の方にも使っていただけるような設えや、バンド練習等ができる部屋の作りを考えているところでございます。

星野委員長

動画配信は内幸町ホールですか?

文化振興課長

内幸町ホールです。そこで撮って、配信できるような、 撮るための部屋を設ける予定で。アートスクエアもそう いう動画配信に対応するような部屋を設ける予定です。

星野委員長

アートスクエアは見に行ったことありますけれども、若い人が色々活動されていて。

ただ春先の補助金申請を見ても、若い人はほぼ漫画とアニメですよね。若い人の文化ってあと何でしょうか、踊りでしょうか?

新井委員

そうですね、ダンスですよね。

星野委員長

アニメばっかりで、それもどうなのかなと思ってしまったりもするけれども。

新井委員

アートスクエアの中にいくつか部屋をお作りになるのだと思いますので、その中の一つにポップスもできる音楽スタジオとかそれを録音もできるとか。そういうことをしていくと、若い人も呼び込めるかなという気がしますけれどもね。

他いかがでしょうか。

田中委員

文化イベントをある程度属性が違う者同士で交流ができ たほうが望ましいんだけれども、それとともに例えば美 術展でいえば、ある程度ターゲット層が違ってきて。若 い人でも学生なのか就職しているのか、その辺でも変 わってくるので、参加しやすい時間もおそらく変わって くるなかでどう対応したらいいか、どういう風に内容を 決めていくかということも重要なことだなと思います。 例えば宮脇展(東京ステーションギャラリー「生誕 120 年 宮脇綾子の芸術 見た、切った、貼った」展)で は、ご高齢の方が多かったので、平日の午前中が一番混 んでいて、土日が意外とすいてた。一方もう少し若い層 の人が入る展覧会になると、平日は空いていて、夕方の 金曜日の夜開館であったりとか、土日、特に土曜日のほ うが夕方まで混んでいる、というなかで、どういう風に プログラムを組んでいくかということも。そうしないと 決まった人ばっかりが利用しているということになる し。千代田区でやるからには、教育機関等にも協力して もらって、文化的なプランがこういうところに具体例と して入ってくるといいような気がします。

文化振興課長

事業でどこまで書けるかというのはありますけれども、 子ども部のほうにも一度声をかけたり。

田中委員

子どもと、その保護者ですね。結局子どもに親が付いてきたとしても、子どもだけ参加して親は見ている、ということもあるので、小学生の中学年とその保護者も両方とも参加できるような。親も区民なので。そういうプランがあるといいなと思います。もちろん子どもを見ているのも楽しいし、参加している様子を動画に撮るのもいいけど、動画よりは一緒に創って何かが完成するとか、そういうところがあるといいなと、ふと思いました。

文化振興課長

ありがとうございます。今度文化財のほうでは「夏のわくわく課外授業」というかたちで、今年度は手書き提灯を作る講座をやるんですけれども、親子で参加していただいて、親も子も、それぞれ提灯に字入れをするというような体験があるので、親子であるとか、いろいろな人が参加できるようなものがあるといいですよね。

田中委員

確かに交流にもなるし。

星野委員長

今のお話を伺っていると、動画配信や YouTube という方向性と逆で、「そういうものをやめるべし、生身の人間と付き合おう」という方向にいかなきゃいけなくなるので、あんまりそちらに寄って行くのはどうなのか、という話でもありますね。どうしたものでしょうか。

田中委員

たとえば若い人や中高年層のなかで、芸術的なアニメ等で賞を取っていくような方に育っていくならそれはそれで良いと思うのですけれども、高年齢層の人はそういう若い人たちが楽しんでいるものをどう楽しめばいいのかわからない。だから若い人たちのためというのではなく、高年齢層も楽しめるような若者主体の交流イベントを作れるのであれば。若い人たちが、高年齢層も楽しめるように、今のものをやると。

私の親なんかは LINE 教室とか行って、LINE ができるようになると、私も LINE で今日あったことを送って、親もそれに返すと。毎回は合いに行けなくとも、日々コミュニケーションがしやすくなるから。

それをどういう風に芸術とつなげていけばよいかわからないけれども。新しい、今の若者にとっては当たり前のもので、それを使って高年齢者も楽しめるようなイベントがあれば、動画の部屋も役に立って。

そうすると、動画の部屋だけ作るんじゃだめで、高年齢者で今までそういうことをやったことがない人が動画を配信できるまでになる。その動画を配信して、若い人とコミュニケーションをとれるようにしないと、どういう風に部屋が使われていくのかというところでまた偏りが出てしまう。

平日に動画配信のための教室を行ける人たちに向けて やって、土日にそれを見せあって公表するとか。それが どう文化芸術につながっていくかはわからないけれど も。そういう部屋を作る理由があるはずだし。

ダンスであれば、高年齢者も一緒に参加できるような。 私は学生の頃ジャギーという踊りを大学で習ったんです けれども、それは8歳から80代まで一緒に創作ダンス を踊って発表会をする。例えば火のイメージで踊ってみ ようとか。そういう体験をしたことがあって。そういう 幅広い層でダンスを踊って発表する機会があるのっていいなと思ったんですよ。

今だったらそれを年齢を超えてダンスの結果を配信できるとか。

そういうつながりを作るためには、それに情熱をもって 取り組む人が必要になるから、それが誰なんだというの を見つけるのも大変になってくると思うのですけれど も。

ハコだけ作ってもそれを利用してくれる人がいないとだめで、利用できる人だけが利用しても片手落ちになるので、そこはちょっと、多層的にプランを考える必要が出てくるかもしれない。

ただソフトの部分を他から待っているのではなく。そういうのが出来るところを調べていただいて、仕事としてプランをそれぞれの課の方が立てていただくのもそれはそれで有難いし、使っていただけることだと思うのですけれども。

その辺まではこちらで考えることではないと思うのですけれども、何らか交流の文章を入れるからには、具体的なイメージが実際の運用側にあって、実現されるような道筋が立っていたほうがこのプランが役に立つなと思いました。

文化振興課長

ありがとうございます。アートスクエアの運営団体も、 オブザーバーで来ていただいていますけれども、改修工 事中も色々改修後につながるような取り組みを検討して いただいているところでして、今年度も「ホッジポッジ な大きな木」というタイトルで年代関係なく、障害の有 無に関係なく、誰でも参加できる一つの大きな木のアー トを作ろうというイベントをやっていただきます。今 後、交流につながるようなイベントを色々お考えいただ いているところなので、区としてもプランに「交流」を 入れるということを踏まえて、より交流につながるよう な、それぞれターゲットを絞った取り組みもありつつ、 交流もできるイベントもある、という形を考えられたら と思います。

星野委員長

ありがとうございます。他何かありますでしょうか。

山崎委員

13ページでDXの活用事例が紹介されていますが、こ

ういった形でこういうものを載せるということでしょうか。

文化振興課長

はい。参考事例として載せることを考えておりました。

山崎委員

この参考事例がかなり重要になってくると思うのですけれども。結局「何がDXか」ということで。

今先生がおっしゃったように、発信する時のツールとしてのものであって、「こんなものがある」という紹介はむしろ後回しでよくて、文化芸術におけるいろんな層の交流という点でいうと、高齢者に早くツールの使い方を覚えさせてあげるのが一番すべてにつながると思うんですよ。

知っている人は一人でも暮らせるけど、知らないと詐欺にあって丸裸にされちゃうという時代で、私の母もそういうのにまじめに取り組んで勉強するおかげで楽しく暮らしているんですけれども、そういうのを教えたり、世代を超えてそういうものを共有する環境としては、千代田区は結構よい環境だと思うので、まずそういう状況を作って。そうするとお年寄りはお年寄りで「こういうの面白いね」と、お年寄りの目で捉えたものを発信すれば、それを若者と同じフィールドで共有されたりすると、そこから交流も始まる。まずどこかに集めて、「こんにちは」というのではないと思います。

I Tの紹介が、バリアフリーにつながるという事例を示してもらえるとすごくいいんじゃないかなという気がしますけどね。ここでミスると違う方向に行ってしまうので。

あとは芸術にこだわりすぎないで、ダンスにしろ何にしろ「文化」としてとらえて良いと思います。ダンスの中で伝統的なダンスも面白いね、ということで。よさこいなんかも良い例ですけどね。

やっぱり「ツール」が大事だと思います。

文化振興課長

ありがとうございます。区でも高齢者の方向けのスマホ教室を複数やっているところでして、今度ミュージアムネットワークさんと一緒にデジタルスタンプラリーを予定していますけれども、デジタルスタンプラリーに参加するための LINE の使い方も、高齢者向けのスマホ教室の中でやっていただけるという方向になっています。

まず第1弾として、高齢者の中でデジタルスタンプラリーの使い方等、高齢者の方にも見ていただいて、実際に区内のミュージアムを回っていただけるといいかなと。そこでまた高齢者の方からのご意見だったり発信があるといいかなという風には思っております。

ツールの使い方が大切というご意見はその通りだと思います。

新井委員

デジタルスタンプラリーは以前やったことがありまして、番町麹町地域でやったんですけれども、全部回ると何点、とかいって賞金(券)が出るので、それが呼び水になって、そのためにデジタルの、スマホの使い方を覚えたという人も随分いました。

やっぱり多少そういうインセンティブも与えないといけないかなという気がします。

もう一つ、ハードルが高いかもと思うんですけれども、 文化拠点ごとの評価ということなのですが、文化拠点を 今4つ挙げているのですけれども、今後の5年間のこと を考えると4つで固定されるとちょっと辛いなという気 がします。

以前にもお話したと思うんですけれども、私は番町麹町の地域ですからどうしてもそちらの話になるのですが、 番町麹町には地域にこういう拠点がないので、今すぐこれを作れというわけではないにしても、今後また増やしていくというようなスタンスのものを入れていただくと有難いですね。

5年間で4つに限定するのではなくて、今後もどんどん 増やしていくというスタンスがほしいなという風に思い ました。

文化振興課長

区立の施設としてはこの4つがある、ということで書かせていただいておりますけれども、民間施設とも連携したりですとか、協力しながらやっているところもございます。たとえば秋の文化芸術フェスティバルは日経ホールさんをお借りしたり、大学のホールをお借りすることもありますので、区立施設としてはこの4つですけれども、ここに施設は限定したものではなく、広く、連携してやっていくということもどこかに入れられればと思います。

ここのところは過去形なんですよね、第四次プランの評価と課題ということで。それらしくカットして整えれば良いかなと思います。

さっきのちょっと考えてみたんですけれども、1ページ のところ、こんなのはいかがですかね。

1ページの2番目のパラグラフで、

「さらに文化芸術とはいわゆる『芸術』だけではなく、 伝統文化や生活様式などを含む幅広いものです。文化芸 術の振興は、美しさの追及、自立・自己責任」…「自己 責任」というのはどうかな、気になるけど、「他者への 気遣いやマナーを大切にした文化を今に生かし、」その あとに「多様な価値観を持つ人々とともに、品格ある質 の高い文化的・芸術的生活を日常的に送ることができる まちづくりに繋がります」はいかがかな。「繋がりま す」というのも変でしょうか。

文化振興課長

この記述は条例の第 2 条の基本理念をそのまま引用したものです。最初と最後は若干違いますが。

星野委員長

できるだけ前のほうに「多様な価値観」を入れたいなと 思いまして、今のところがまずいようなら、この前半分 くらいで入れるところがないかなと。

文化振興課長

記載に「自己責任」が入っているのは、条例をそのまま書いたためです。

星野委員長

「自己責任」は入れなきゃダメでしょうか?条例に入っているからといって。「自己責任」といったらかなりの方向性が出てしまいますよね。

当初どういう意味があったんでしょうね、「自己責任」 というのは。今言うような話ではないと思うんですが。

文化振興課長

「自立」とセットになっていますので、「自主自立」と いう意味合いで入ったのかなと思いますけれども。

星野委員長

今見るとちょっと気になりますよね。

文化振興課長

プラン上の記述からは、「自立」からという形にさせて いただいて、「今に生かし、多様な価値観を持つ人々と ともに」と追記する形といたします。 コロナからオリンピック・パラリンピックのところは削除して、つながるように検討いたします。

星野委員長

今の話は前のほうに入れたほうが良いような気がします よね。真ん中のほうに入れてもちょっと違うかなと。 あとは何かありますか?文言で気になるところとか。

新井委員

文言で気になるのは3ページのところで、「現在では、 麹町エリアでは大使館等が集積するとともに国際文化が 発展し、劇場文化も引き継がれています。」とあります が、何だか全然意味が通じないんですね。まず一つは、 大使館が集積することで国際文化が発展するということ が現実にあるかどうか。実際にはないと思うんです。私 の事務所の近くにイスラエル大使館がありますけれど も、警備ばかりが構えていて文化も何も感じないです

確かにスペインのセルバンテス文化センターや、イタリアのイタリア文化会館がありますので、確かに個別に発信しているということはあろうと思うのですけれども、大使館が集積するから国際文化が発展し、というのは、ちょっと文言としてなじまない感じがします。 それに続いて劇場文化も引き継がれている、というのは文章としておかしいとおもいますがいかがでしょうか。

文化振興課長

ここの記述は悩んだところでして、麹町エリアで秋葉原のポップカルチャーに対応するような記述をするとなると何か良いかと課内で知恵を出し合った中で、「麹町エリアだったら国際文化と劇場文化ということが言えるのでは」という話が出たため、こういう形になりました。

新井委員

麹町地区には文化拠点というのがないんですね、私が盛んに「麹町エリアに文化拠点を作ってほしい」と言っているのはそういう意味もあります。そこから発信しないと、大使館自身が発信するということもないですし。劇場について言えば、商業施設ですから興行として集客をするという面での発信はあるんですけれどもそこまで含めちゃうと、映画「国宝」がヒットしたから文化芸術に供するかというと、別にそういうわけでもないので、地域の人間としてはそこが辛い所だと思います。

田中委員

昔からの料理関係、村上開新堂とかローザ―洋菓子店とかの西洋のお菓子の老舗があったりとか、カメラ博物館があって、イギリス大使館があるところはなんとなく緑があって、文教的だし文化があるなあ、という感じがあるんですけれども、それを言葉にしたらどうなるでしょうか。

新井委員

地域自体は一応文化の薫り高いというところはあるのですけれども、それはあくまで過去のものであって、今のもので発信しているというわけではないので。 ただ、やはり歴史的なものをもうちょっと広めて発信したいなというのが私の願いなんですけどね。

田中委員

今誇るべきものとしては、大使館が集積しているという のは事実じゃないですか。それ以外に語り継ぎたい文 化っていうのは何でしょうか。

新井委員

江戸時代から明治大正昭和にかけての、文化人が多かったという土地柄というのはアピールしたいですけれども、それが今どうかというとお粗末な部分があるので、何とも代わりになるものがあるかと問われれば、つらいところなんですよね。

文化振興課長

秋葉原と神保町ですとどうしても神田に寄ってしまうの で、麹町方面でも何か入れたいのですけれども。

田中委員

西洋の文化的な技術があることを入れたいですよね。

新井委員

たしかにセルバンテス文化センターとかイタリア文化会館は一応番町麹町のエリアですから、文化施設が集まっているというほどでもないんですが、その二つですね。

田中委員

大使館からは、「その国の文化を発信し、」みたいな感 じでしょうか。

山崎委員

この部分は「4計画における区の文化資源」として、それぞれの地域の文化資源を取り上げるという部分ですが、そのあとのまとめが「こうした取り組みが」となっているのが、無理やりまとめて取組みっぽく見せようとしてしまっているので、そのあたりは冷静に書いたほう

がよいかもしれません。

文化資源はあるけど取組みは遅れているという、そういう意味合いですよね。

文化振興課長

この部分は記述を再考させていただきます。

山崎委員

揃えよう揃えようとするとうまくいかないと思うので。

星野委員長

これのところはどんな文化資源があるか、ということで 具体例を挙げようとすると、今みたいな話になります が。文化資源と言ったら大学や専門学校も、大事な文化 資源で、どこまでお付き合いがあるかによって扱えるか わかりませんが、広めていくべき一つのターゲットでは ありますよね。文化資源そのものだし、大使館もそうで すし

それから皇居界隈は戦争博物館もあるわけだし、結構大 事ですよね。

だから探していくと色々と出てきますので、あんまり具体例を書こうとするとそれもまた難しい。そういう意味で3ページの上の方はこれでいいと思います。具体例入れると辛くなってくるような。

山崎委員

地域的に分けようとすると難しいので、時間層でわける といいんじゃないですか。みんな一応触れられるし、新 しいほうに漫画とかアニメとか入ってくるという感じ で。

星野委員長

あと千代田区は公園が多い感じがしますよね。23区で 一番多いくらいですか。

文化振興課長

緑地率としては一番多いです。

星野委員長

大事な文化資源ですよね。

それから祭についてあんまり書き込んでないですけれど も、どこかにあるのでしょうか。港区はあちこちで祭 やっていますけどね。

新井委員

やっていますよ、山王祭は天下祭ですし。

星野委員長

大規模なものはですね、もう少し細かいのはないです

か。例えば5の日に毎月祭があるとか、そういう細かい のはないですか。

新井委員 そういうのはないですね。

星野委員長 港区に住んでいた時には5の日に「麻布十番祭」のもと

みたいなものをやっていました。

新井委員 昔は、「二七通り」といって、2と7に何かイベントが

あったんですけど、明治大正のものですから。

星野委員長 公園の話をもっと書き込んで。大事な資源ですよね、自

然に出来上がったというか。

新井委員 あと学校も多いですよね。そういう面での文化資源は随

分あると思います。

文化振興課長 今いただいた大学や専門学校、皇居界隈の自然ですとか

公園ですとかお祭りといった文化資源についても、どう

入れるか検討させていただいて。

エリア分けがいいのか時間層的な書きぶりがいいのかも

併せて検討させていただきます。

星野委員長 ここに書いてあるとおり、大使館が集積しているから国

際文化が交流しあっているのであれば、それは期待すべ

き方向性ではありますが。

文化振興課長 区立学校は大使館へ訪問させていただいて、交流してい

るという面はございます。

星野委員長 他いかがでしょうか。だいたいこういう感じで、ここま

でのところはご意見出たと思いますので、この後の章は

次回ということでございます。

今後のスケジュールになりますでしょうか。

文化振興課長 今後のスケジュール第3回目の委員会は9月19日午後

2時からの開催を予定しています。皆様お忙しいとは思いますが、ご出席いただきますようお願いいたします。

本日のプランのたたき台について、言い忘れたことや思いついたことがございましたら、来週中にメールでお寄

せいただけましたら、反映したいと思いますので、宜しくお願いいたします。

星野委員長

はい、ありがとうございます。

今後のスケジュールについてご説明はよろしいですか。

文化振興課長

10月に素案を検討し、庁内の会議体等に諮りまして、 12月中には素案を固めていきたいと思っております。 10月11月の段階で皆様にもう一度お集まりいただく か、書面開催かというのは状況次第でございますけれど も、もう一度ご確認いただく機会があるかと思っており ます。

年明けにはパブリックコメントを実施いたしまして、パブコメの結果を反映させて3月には計画案として作成し、議会への報告を経て、計画を策定という形にさせていただきたいと思っております。 スケジュールについては以上です。

星野委員長

今のご説明でよろしいでしょうか。その他連絡事項お願いいたします。

文化振興課長

次回9月19日午後2時から予定しておりますので、宜 しくお願いいたします。 事務局からは以上になります。

星野委員長

よろしいでしょうか。

それではこれで、令和7年度第2回の千代田区文化芸術 プラン推進委員会終了といたします。ありがとうござい ました。